

# 令和5年度 立川市立松中小学校 授業改善推進プラン

学校の教育目標	やさしく      かしこく      たくましく
---------	---------------------------

児童に育成を目指す資質・能力	複数の教科や学年全体に共通する取り組み
<ul style="list-style-type: none"> <li>○基礎的・基本的な知識とそれを日常で活用する力</li> <li>○考える力と表現する力</li> <li>○挑戦したり最後まで頑張ったりする態度</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 朝学習で継続的に課題に取り組む。</li> <li>① 本時のめあてを設定する。</li> <li>② 問題解決的な学習過程を確立する。(マグネットの活用)</li> <li>③ 自分の思いや考えを表現する場を意図的に設定する。</li> <li>④ 考えを共有する場を設定する。</li> <li>⑤ 練習問題に取り組む。</li> <li>⑥ 最後まで努力したことを認め、価値付ける。</li> </ul>

※①～⑥は、全教科共通して取り組む内容です。普段の授業、授業観察等で何を重視した授業か分かるように番号を記入しました。

	教科で育成を目指す資質・能力	資質・能力を育成するための具体的な取り組み
国 語	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「書く」「話す」活動における語彙の増加</li> <li>○相手や目的を意識して、文章全体の構成を考えたり自分の考えを書いたりする力</li> <li>○課題について自分の考えをもつ力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○年間30冊以上の読書を目標設定し、「目的をもたせた読書」「読んだ本の記録」の2点に取り組めるようにする。</li> <li>○文章構成を意識したり自分の考えを書いたりする力を付けるために、短い説明文を読んだり、文章を書いたりする活動を積極的に取り入れる。</li> <li>○話題や課題について必ず自分の考えをもつように指導する。</li> </ul>
社 会	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の生活に関連付けながら考え、まとめる力</li> <li>○目的意識をもって資料を読み取り、表現する力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童の身近なことから興味をもたせ、多くの資料を使いながら、まとめられるようにする。</li> <li>○課題に対して見通しをもたせ、多様な表現方法で整理できるようにする。</li> </ul>
算 数	<ul style="list-style-type: none"> <li>○数の概念や計算の意味を理解する力</li> <li>○文章題から立式をし、問題を解決する力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○朝学習や宿題等に、プリントやデジタルドリル、東京ベリック・ドリルを活用し反復練習の機会を設ける。</li> <li>○問題文を読み、表や図、数直線などを用いて場面や考えを整理するよう指導する。</li> </ul>
理 科	<ul style="list-style-type: none"> <li>○適切な実験技能の習得及び用語の理解</li> <li>○観察・実験方法や結果から結論を考察できる力</li> <li>○粘り強く問題を解決しようとする態度</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○1人1人が実験したり、観察したりできる環境を整え、適切な用語を使って説明できるよう指導する。</li> <li>○児童が考えて解決できる場を設定し、科学的思考(比較・関係付け・条件制御・多面的に考えられる)を用いて解決するよう指導する。</li> <li>○自分が見出した問題を最後まで解決できる場を設定し、自分の問題として取り組める場を設定する。</li> </ul>

生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域や自然、身近な人々と、自分自身との関わりに目を向け、そのよさに気付く力</li> <li>○学習したことを表現して伝える力</li> <li>○意欲や自信をもって学ぼうとする態度</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域の人や他学年、自然等と直接関わる活動や体験を重視する。</li> <li>○学習のまとめの場面は、様々な発表の仕方を取り入れ、多様な表現方法を身に付けられるようにする。</li> <li>○児童の興味・関心を大切にし、活動の楽しさや満足感、成就感を感じさせる。</li> </ul>
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>○思いや意図をもって表現する力</li> <li>○互いの意見や表現のよさを認め合い、主体的に聴いたり表現したりしながら音楽活動の楽しさを味わう態度</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○鑑賞で気付いたことや感じたことを他者と交流しながら音楽に対する価値意識を広げ、それを表現に生かせるような授業展開を図る。</li> <li>○振り返りシートを活用し、児童が学習状況を把握しながら学習を進められるようにする。また、互いの気付きや表現のよさを視覚的に共有できるように、ICTを効果的に活用する。</li> </ul>
図工	<ul style="list-style-type: none"> <li>○材料や用具を活用して、創造的につくったり表したりする力</li> <li>○造形的な特徴を基に自分なりのイメージを表す力</li> <li>○つくりだす喜びを味わい、楽しく表現したり鑑賞したりする態度</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○身近で扱いやすい材料や用具を用い、基本的な扱いが身に付くよう、段階をおって丁寧に指導し、自分の表したいものが自分の力で表せる喜びを味わわせる。体全体の感覚を働かせる活動を取り入れ、のびのびと表現できるように支援する。</li> <li>○材料などに触れ合う時間を大切にし、形や色の組み合わせ、手触りなどの感じを捉えさせ、表したいイメージを造形的特徴と結びつけ、効果的に表せるように支援する。</li> <li>○相互鑑賞の機会を多くもち、自己肯定感を高めるとともに、多様な表現を互いに認め合える雰囲気育てる。児童が自分の思いや考えに自信をもてるよう、共感的に寄り添い指導する。</li> </ul>
家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学んだ知識を習得する力</li> <li>○学習したことを生活場面に生かそうとする力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習したことを家庭で実践することができるように、トライカードなどの課題に取り組ませる。また、その実践を児童が共有し合えるようにする。</li> <li>○生活の中にある課題の解決方法のアイデアを交流する時間を設定する。</li> </ul>
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基本的な動きや技能を理解し、表現する力</li> <li>○児童自らが考え、工夫しながら課題を解決する力</li> <li>○友達と関わりながら、諦めずに取り組む態度</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習カードや動画を視聴したり、自分の動きを撮影したりしながら動きのポイントを理解できるようにする。</li> <li>○スモールステップでの場を設定し、学習の軌跡が分かるように学習カードを工夫する。</li> <li>○学び合いや励まし合いの場を設定する。</li> </ul>
外国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>○コミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能と表現力</li> <li>○自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力</li> <li>○主体的に英語を用いてコミュニケーションを図り伝え合う態度</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○定期的にパフォーマンステストを実施したり、表現を反復して練習する時間を設けたりする。</li> <li>○何度も聞いたり、話したりして音声に十分に慣れ親しんだ上で、語順を意識しながら書く時間を設ける。</li> <li>○児童が興味をもって取り組むことができる言語活動を易しいものから段階的に取り入れる。自己表現活動の場面設定を工夫し、自信をもって表現できるようにする。</li> </ul>